

2020年11月13日

スズキ、「ソーシャル イノベーション ウィーク(SIW)2020」に 歩く・広がるモビリティ「KUPO」を出展



「KUPO」 電動車いすモード



「KUPO」 電動アシストカートモード

スズキ株式会社は、11月7日(土)から15日(日)に渋谷区内で開催されている「ソーシャルイノベーションウィーク(SIW)2020」(主催: SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 実行委員会)に参加し、新たに試作した可変電動アシストカート「KUPO」と、セニアカーの体験試乗等を実施する。

体験試乗会は、SIWの会場の一つ「渋谷キャスト前 屋外広場」のスズキ展示スペースで、11月13日(金)から15日(日)の3日間を予定する。

今回出展する「KUPO」は、2018年に初代コンセプトモデルを発表して以来、改良を重ねた3代目モデルである。生活を支援し、歩く喜びを提案する「歩く・広がるモビリティ」として開発し、歩行を補助する電動アシストカートから、電動車いすに変形する事で乗って移動する事もできる。

今回出展する3代目モデルの「KUPO」は、フレーム構造を見直してコンパクトな車体とし、軽量化と取り回しの向上を図った。また、電動アシストカート、電動車いすの操作が自然な感じにできるようアシスト機能を向上させた。

SIWへの出展、体験試乗等を通して、スズキがお客様視点の多様な生活支援モビリティの開発に取り組んでいることを紹介すると共に、幅広いお客様より直接ご意見を伺い「KUPO」や今後の車両開発に結び付けてゆく。

また、2020年11月より静岡県浜松市で実証実験を開始した、車を個人オフィスに、駐車場をワーキングスペースに活用した「浜松テレワークパーク」で提案している「ハスラー ワークーションスタイルコンセプト」と「エブリイワゴン ナチュラルオフィスカーコンセプト」の2台を参考出品する。